

2024 年度後期 課目案内 (*公開講座)

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	*公開講座「牧会カウンセリング:みんなの相互牧会」	4	教育専攻科必修	今給黎眞弓・杉山いずみ
月	説教演習:みんなの説教	4	神学専攻科必修	永松博
火	*公開講座「共に生きる生活:共に読み、語り合うボンヘッファーとバルトの言葉」	4	共通選択	小海基
火	組織神学Ⅱ	4	神学専攻科必修	朴思郁
木	新約聖書神学概論	4	共通選択	平野健治
木	ヘブル語を学ぼうⅡ:ヨナ書を読む	4	神学専攻科必修	城倉啓
金	*公開講座「教会史Ⅱ:バプテスト史」	4	専攻科必修	大西晴樹
金	教会音楽概論	4	共通選択	江原美歌子・小松澤恵
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅱ	4	音楽本科必修	山中臨在
	卒業論文	6	専攻科必修	城倉啓(コーディネーター)
冬期	*公開講座「ハラスメントとキリスト教」	2	12月26~27日	城倉由布子

☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

<東京バプテスト神学校 後期開講方針>

東京バプテスト神学校後期授業は、10月7日(月)から始まります。後期においても、教会音楽科の一部の授業を除いて基本オンラインで行います(ライブ通信、ビデオ通信)。なお、12月26日(木)~27日(金)の冬期公開講座は、茗荷谷キリスト教会を会場にオンライン併用で行います。

- ①授業開始は10月7日(月)を予定する。10月7日(月)~12日(土)はオープンウィークとする。
- ②受講は、基本オンライン通信受講とする(ライブ通信またはビデオ通信)。講座によっては、15回のうち1回の授業を対面(オンライン併用)で行う。なお、オンライン授業の教室受講希望者は、事前に事務局へ連絡する。
- ③会議(理事会、スタッフ会、教師会、など)は原則としてオンラインで行う。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索



2024 年度後期 東京バプテスト神学校受講案内 本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース

みんなの神学校へようこそ

前期に引き続き後期も「みんなの〇〇〇」と冠した講座を開講いたします。「牧会カウンセリング:みんなの相互牧会」「説教演習:みんなの説教」です。どんな人も「神学する」場を提供し「みんなの神学校」となることが当校のモットーです。

正式に入学をしなくても、「公開講座」を受講することができます。ボンヘッファーの生き方、バプテストの歴史、合唱、ハラスメントの学びをご一緒しませんか。また「教会共同受講」というかたちで複数名が共にオンライン受講することも可能です。だれでも・どこからでも受講できるのです。

2025年度からは新しい枠組みのもとカリキュラムが全面的に刷新されます。「みんなの神学校」として信徒が学ぶ場を豊かに提供し、教役者を志す人には専攻科(3年)を設けて学びが深められるようにします。これからもご期待ください。

なお、来年度から後期入学制度が廃止されることに伴い、今年度後期入学者募集はいたしませんのでご了承ください。

【学 期】 ・後期 10月7日(月)~2025年2月22日(土)
<冬期休講 12月17日(火)~2025年1月3日(金)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分~8時30分
*但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分~午後3時30分

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー科) 1課目4単位25,000円、2単位12,500円
・聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円

【設備費】 一律5,000円(半年間、前期に10,000円支払い済みの方は不要)

【通信受講】 通信受講の場合、1課目5,000円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した課目は本科入学時に単位として認められます。
・ある1課目だけお試し聴講をしたい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。

<お問合せ>(月・火・木・金、午後3時~9時)

・TEL:03-3947-5141 ・FAX:03-3947-5145 ・E-mail:seminary@tbts.jp

2024年度後期 講義シラバス（＊公開講座）

*公開講座「牧会カウンセリング」 月曜日 4単位 今給黎眞弓・杉山いずみ

「牧会カウンセリング」にどのようなイメージをされ、何を期待されるでしょうか。牧師はカウンセラーでも精神科医でもありません。魂のケアを委託されていますが、同時に自身がケアを必要とする者でもあります。また、バプテスト教会における「牧会」について一緒に考えていきたいと思います。講師や参加者のそれぞれの体験や学びから、「ひとりひとりが大切にされる教会」を探っていきます。授業はふたりの講師で担当します。参加型の授業にしていきますので、受講される方々にも素朴な質問や意見を出していただき、一緒に考えていきたいと思います。授業の中で登場するそれぞれの物語に関しては、ご本人の許可なく他の場面で話したりすることのないようお願いいたします。テキストは特にありませんが、適宜、参考図書を紹介していきます。一緒に学ぶ中で新たな気づきや生きなおしができることを楽しみにしています。

「説教演習」 月曜日 4単位 永松博

主日礼拝における説教は、牧師の働きのうちで最も重要な奉仕のひとつである。また、バプテスト教会において説教は、牧師など教役者の働きのみならず、教会によって立てられたすべての者が担う奉仕でもある。本講義は、「専門職としての説教者」のためだけではなく、「信徒の働きが生かされ」「多様性を喜び、対話と協力を喜ぶ」バプテストの特徴を生かし、「信徒」の奉仕としての説教についても考える。また、説教奉仕における信徒と牧師の新たな協働の可能性についても学ぶ。本講義では、「今、共にキリストを証しするために」、専門職として、あるいは信徒説教者として実際に説教奉仕を担う者となることを目的とする。よって、説教作成のために、テキストの釈義、テキストと会衆の黙想、原稿作成、説教の実施、そして評価を行う。また、説教作成のプロセスを知り、対話的に協働していく可能性を見出すことを目的とする。講義では、説教者として、与えられたテキストからそれぞれが完全原稿を作成し、実際に説教をする。また、会衆のひとりとして説教を聴き、応答を分かち合い、適切な批判をする。

●テキスト: 適宜プリントを配布します。 ●参考書: 関田寛雄『聖書解釈と説教』、D・リッチュル『説教の神学』、『総説 実践神学Ⅰ』、『総説 実践神学Ⅱ』、R・ボーレン『説教学Ⅰ』、『説教学Ⅱ』、フレッド・B・クラドック『説教』

*公開講座「共に生きる生活」 火曜日 4単位 小海基

今年2024年は、ドイツ告白教会闘争の出発点となったバルト起草の「バルメン宣言」が出されて90年という年です。今回共に読んでいく2冊はこうした闘いの中で生まれた書物です。戦後の教会再建に貢献した名著を共に味わいましょう。『共に生きる生活』は告白教会のフィンケンヴァルデ牧師研修所で生まれた書物です。ボンヘッフアーはその所長として活躍しましたが、やがて研修所は閉鎖され、ヒトラー暗殺計画に彼は参加したことで強制収容所で絞首刑に処せられることとなります。この研修所出身の牧師たちは前線に送られ、たくさんの犠牲者が出ることとなりますが、その生き残りの牧師たちが敗戦後、東西分断という困難を乗り越えてドイツのプロテスタント教会の復興を担うこととなります。『教義学要綱』はヒトラー宣誓拒否をしたバルトがスイスへ国外追放にされたその現場であったボン大学、瓦礫の山のその場所に戦争終結直後に戻って行なった使徒信条の名講義です。教室には神学部学生以外の人たちも集まり、バルト自身も生涯忘れることの出来ない講義になったといえます。この講義の参加者たちも敗戦後のドイツのプロテスタント教会再建に大きく寄与します。

●テキスト: ディートリヒ・ボンヘッフアー著 森野善右衛門訳『共に生きる生活』(新教出版社)
カール・バルト著 宮田光雄訳『教義学要綱』(新教出版社)

「組織神学Ⅱ」 火曜日 4単位 朴思郁

本講義は、組織神学の基本的な概念、主題などを学習することにより、神学的知識を熟知するとともに神学的思考を深めることを目指します。そのために組織神学の主要な主題(神学方法論、神論、人間論、キリスト論、聖霊論、救済論、教会論、終末論など)を「神と世界」、「イエス・キリストと人間」、「聖霊と共同体」の三つに区分して主な内容と争点を扱おうとしています。「組織神学Ⅱ」では、「組織神学Ⅰ」で取り扱ってきた「神と世界」、「イエス・キリストと人間」のほかに「聖霊と共同体」に関連するテーマを中心に講義を行い、現代神学の傾向と主題に関する講義を加える予定です。基本的には、「組織神学Ⅰ」に引き続き、ダニエル・Lミグリオリ『現代キリスト教神学―理解を求める信仰』(私訳)をテキストにする講義を通して組織神学の主な内容を概括的に学びたいと思います。

●テキスト: ダニエル・Lミグリオリ『現代キリスト教神学―理解を求める信仰』(私訳) ●参考書: アリスター・E.マクグラス『キリスト教神学入門』(教文館)、W・パネンベルク『組織神学の根本問題』(日本基督教団出版局)、カール・バルト『教義学要綱』(新教出版社:ハンディ版)

「新約聖書神学概論」 木曜日 4単位 平野健治

この講座は受講者が新約聖書神学について基本的なことを理解し、さらに興味のある分野や時代、深く考えたい事柄へのアクセスをできる知識を持つことを目標にします。毎回の授業では前半でわかりやすい入門テキストを読みますので、予習は必要ありません。後半は参考文献を見渡しながら発展的学習のための情報共有をします。最後に受講者の感想の交換をし、共に学ぶ仲間との対話によって理解を深めます。授業後にご自身での復習や発展的学習をお勧めします。

●テキスト: 越川弘英『新約聖書の学び』キリスト新聞社、2016年
●参考書: ゲルトタイセン「新約聖書―歴史・文学・宗教」教文館、浅野淳博「新約聖書の時代」教文館、・大貫隆編『イエス・キリストの復活現代のアンソロジー』日本キリスト教団 他多数。適宜授業で紹介する。

「ヘブル語を学ぼうⅡ」 木曜日 4単位 城倉啓

ヘブル語原典を直読・直解する講義です。今年度はヨナ書を読破いたします。ヨナ書は十二小預言書の中でも異彩を放つ物語です。旧約聖書の中で一般に物語は、詩文(預言書も含む)よりも読みやすい文体です。初級文法を終えた受講生にとってとつきやすいテキストとなるはずです。各受講生は1節ずつ担当し、自分の私訳を作成します。文法的に間違えがなければ、どのような解釈でも構いません。文法的な過誤があれば、講義の中で正します。さまざまな翻訳も照会し随時参考にいたします。自分だけのヨナ書を仲間と一緒につくってみましょう。

●テキスト: Biblia Habraica Stuttgartensia, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart, 1977
●参考書: 『ヘブル語のススメ』『ヘブル語語彙集』『ヘブル語文法の手ほどき』、いずれも、いのちのことば社、城倉啓著

*公開講座「教会史Ⅱ」 金曜日 4単位 大西晴樹

この講義では、16世紀から17世紀までの初期イギリスのバプテスト教会史を学ぶ。宗教改革からバプテストが生まれ、2つのイギリスの市民革命をへて、信教の自由の下、バプテストが教会基盤を固めて発展していく時代である。講師は長年大学の経済学部で西洋経済史を講じてきたが、この時期のバプテストについて研究書を2冊刊行してきた。『イギリス革命のセクト運動』(御茶の水書房)と『海洋貿易とイギリス革命』(法政大学出版局)がそれである。仙台在住なので、授業はすべてオンラインを利用、テキストは事前にパワーポイントで配布する。テキストの解説後、休憩をとり、それぞれの学びや経験に基づく討論を交えながらオンライン授業を進めてきたい。

●テキスト: パワーポイントで事前配布 ●参考書: 大西晴樹著『イギリス革命のセクト運動』(御茶の水書房)、大西晴樹『海洋貿易とイギリス革命』(法政大学出版局)

「教会音楽概論」 金曜日 4単位 江原美歌子・小松澤恵

教会音楽の目的、重要性、使命を踏まえ、礼拝・宣教・教育・牧会の中での役割を学んでいきます。聖書(旧約、新約)から賛美の基本、姿勢を押さえ、実践では、礼拝での賛美・会衆賛美の役割、賛美歌の選曲、『新生讃美歌』の特徴、使い方について学びます。最後に牧師、教会音楽奉仕者として、礼拝を支える働きであるチームの役割を考えていきます。

●テキスト: 『キリスト者の礼拝 神学と実際』(キリスト新聞社)、『新生讃美歌ブックレット』(日本バプテスト連盟)

*公開講座「合唱」 土曜日 2単位 山中臨在

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさそしてその意義を、合唱を通して学ぶ。また、神学校の入学式、卒業式、演奏会等で神学校聖歌隊として奉仕する。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。オリジナル曲を含めた聖歌隊用アレンジ曲やオラトリオ合唱曲などを歌う。

●テキスト: 授業にて楽譜を配布。数百円程度の実費をお支払いください。

「指揮法Ⅱ」 土曜日 4単位 山中臨在

指揮法Ⅰで学んだ指揮の基礎の応用。リハーサルの導き方の研究。聖歌隊曲の指揮の実践。

●テキスト: 聖歌隊曲の楽譜を配布。数百円程度の実費をお支払いください。